

No.39 2021/1/15

レジオン・ヴィヴィ 一地域で暮らす

# Region Vivir

発行者：社会福祉法人県央福祉会  
発行所：神奈川県大和市柳橋5-3-1  
URL：http://www.tomoni.or.jp/  
発行責任者：佐瀬睦夫  
編集責任者：青木 久  
印刷：ワークス桜舎

Region Vivirは、スペイン語で地域で暮らすという意味です。これからは障がいがあっても地域で豊かに暮らす時代だと思います。

## 社会福祉法人が競争社会で生き残るには！

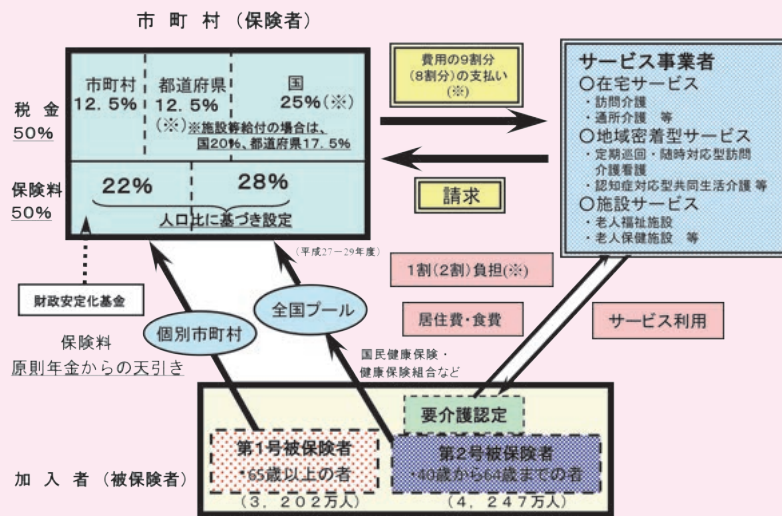
### 一 社会福祉法人を取り巻く現状と課題

社会福祉法人は、主として国からの措置事業を担う公共的な性格を有する法人として機能してきました。長きにわたり、社会福祉事業の主たる担い手として、我が国の社会福祉を支えています。

2000年（平成12年）の介護保険法の施行（図表1）や社会福祉法の改正により、

社会福祉法人 県央福祉会 理事長 佐瀬睦夫  
サービス利用の仕組みを措置から契約に転換し、多様な供給主体（株式会社・NPO等）が参入できるようになりました。それは利用者の選択の幅を広げるとともに、事業者の効率的な運営を促し、サービスの質の向上と量の拡大を図る政策がとられるようになりました。高齢分野だけでなく、障がい分野も2003年（平成15年）に支援費制度が導入され契約制度に移行し、

図表1 介護保険制度の仕組み



(注) 第1号被保険者の数は、「平成25年度介護保険事業状況報告年報」によるものであり、平成25年度末現在の数である。  
第2号被保険者の数は、社会保険診療報酬支払基金が介護給付費納付金額を確定するための医療保険者からの報告によるものであり、平成25年度内の月平均値である。

(※) 平成27年8月以降、一定以上所得者については費用の8割分の支払い及び2割負担。

出典：平成28年版厚生労働白書

### 目次

- 社会福祉法人が競争社会で生き残るには！（理事長 佐瀬睦夫） ..... 1
- 新型コロナウイルス感染症の対応について（危機管理室室長 近藤 誠） ..... 4
- 県央福祉会ヒストリー かたくりの里 ..... 6
- ふれあいコンサート2020 ..... 8
- 新規事業所紹介 ..... 9
- おしえて！！あなたの事業所（わかばケアセンター） ..... 10
- 2020年度助成金受給／トピックス／編集後記 ..... 12



2006年(平成18年)に障害者自立支援法が施行、2013年(平成25年)に現在の障害者総合支援法へと変遷しました。

契約制度により、サービスを提供する事業者は、質の高いサービスや専門性を身につけ、利用者のニーズに応え、選ばれる事業所づくりが求められるようになりました。

### 一 社会福祉法人の事業展開と期待される効果

近年、地域においては、生産年齢人口の減少をはじめとする本格的な人口減少社会が到来しています(図表2)。福祉ニーズの複雑化、多様化、地域社会の変化が進んでおり、社会福祉法人もこうした変化への対応が求められています。

今般、公益性と非営利性の両面を備え、良質な福祉サービスを継続して提供していく使命を持つ社会福祉法人が、その役割をさらに発揮していくことを期待して、2020年(令和2年)9月に社会福祉法人の法人間連携、合併、事業譲渡等の手続きと留意点等を整理した「社会福祉法人の事業展開に係る合併・譲渡のガイドライン及びマニュアル」が策定されました。社会福祉法人の経営に携わる方々は本ガイドライン等を今後の事業展開の検討にあたって参考にしていくことになるでしょう。

同ガイドライン及びマニュアルによると、社会福祉法人は、わが国の人口構造の変化や福祉

ニーズの複雑化、多様化を見通して、「これまで培ったノウハウを活かした福祉サービスの充実を図るとともに、『様々な社会生活上の困難を抱える者に対して、日常生活の支援を含む福祉サービスの提供』『過疎地等他の経営主体の参入が見込まれない地域で福祉サービスの提供』など、他の経営主体で担うことが必ずしも期待できない、制度や市場原理では満たされないニーズに対して、住民に身近な圏域で福祉分野の専門性を持つ非営利セクターの中核として、福祉サービスを積極的に提供することが期待されています」と記載されています。

### 一 事業展開の主な手法

社会福祉法人が行う主な事業展開として、図表3のような手法が考えられます。

合併による社会福祉法人の新たな事業展開で期待される効果として、

#### ①事業展開全体で期待される効果

ア：新たな福祉サービスや複雑化、多様化に対応した取組の展開

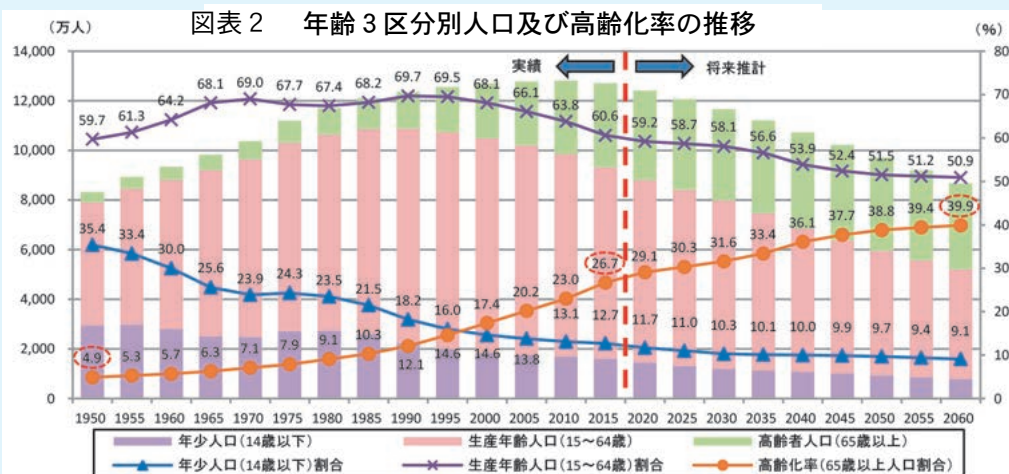
イ：一法人では対応が難しい課題への対応

#### ②法人間連携で期待される効果

合併、事業譲渡等の手続きと比較し容易に取り組むことができ、意思決定から短期間で柔軟に実行に移しやすい

#### ③合併で期待される効果

図表2 年齢3区分別人口及び高齢化率の推移



資料：2015年以前：総務省統計局「国勢調査」及び「人口推計」（年齢不詳の人口を按分して含めた）  
2020年以降：国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」（出生中位・死亡中位推計）  
(注)1. 2015年は、総務省統計局「人口推計」（平成27年国勢調査人口速報集計による人口を基準とした平成27年10月1日現在確定値）  
2. 1970年までは沖縄県を含まない。

出典：平成28年版厚生労働白書

ア：法人が一体となることによる経営基盤の強化、事業効率化

イ：サービスの質の向上、組織活性化

ウ：人材育成

④事業譲渡等で期待される効果

ア：事業継続が困難な社会福祉事業の継続

イ：事業拡大、拡充の負担軽減

があると同ガイドライン及びマニュアルには記載されています。もちろん、メリットだけでなく規模拡大に伴うデメリットも想定しておく必要があります。

一 県央福祉会が目指すこと

ここ数年、法人全体の決算が、毎年黒字と赤字を繰り返しています。何が原因でこのようなことを繰り返すのか、コンサルタント会社に組織効果性の調査を依頼しました。その結果『競争相手の把握』『人員の適正化(頭数で業務を遂行しようとする傾向)』『目標と業務の整合性』『業務運営の効率性』『職場の役割』『権限行使の柔軟性』『情報システムの適正性』『上司の指導性』『コミュニケーションの効率性』『部門間連携』『創造指向・協働指向・統制指向』『競争指向』等などが悪く、改善が必要ということが明らかになりました。

今後、県央福祉会の職員はじめ他の社会福祉法人の職員も、この点が改善されなければ、こ

れからの厳しい競争社会で生き残っていきません。未来の介護・福祉の分野で働く若い職員達の強成長指向に働きかけ、励まし褒め、ポジティブな働きかけをしていかなければなりません。

果てしない自由競争の中で、企業の存続をかけて組織の在り方、企業内の事業の在り方を考え、社員が働き甲斐を感じ効率的で効果的な業務遂行が出来るよう日々努力しなければならない時代に突入しているのです。

このような現状の中、社会福祉法人はどうあるべきか！ 旧態依然とした経営感覚と前例なきものへの挑戦もない！ 長い伝統と経験に基づく組織体だけでなく、時代にあったあるべき姿を模索し、新しい時代のニーズに応えるべきです。

県央福祉会は既存の社会福祉法人の概念から脱却し、時代にマッチした法人・組織を目指すべきです。今こそ、経営陣も職員も英知を集め、私どもに求められることを精一杯頑張っていきたいと思います。

……………

今、小規模法人が生き残るのは大変な時代です。それは、大規模法人も同じことが言えます。働き方改革や労働人口の減少、福祉・介護・保育・療育・相談等の従事者が集まらず、質の高い専門性のある職員集団を育成しなければ、新しい時代の新しい福祉事業の展開は困難になるでしょう。それと同時に、法人内の施設の老朽化や、利用者への質の高い支援・介護力、事業所の資金不足等々困難要素が一杯です。しかし、時代のニーズに応え利用者やご家族、職員に安心していただける法人・現場を構築し、財源・専門性・人間性豊かな組織と開拓精神と多少の競争心を持ち、他の業種や社会の動向を意識した働き方をしたいものです。今こそ、その準備に入り、足腰を強くするための対策を取る時です。

参考資料：「社会福祉法人の事業展開に係るガイドライン」(厚生労働省)「合併・事業譲渡等マニュアル」(社会福祉法人の事業拡大等に関する調査研究事業・みずほ情報総研株式会社)

図表3 社会福祉法人による事業展開

法人間連携	複数の法人間で協力関係を構築すること。連携の範囲や内容などの明確な定義はなく、地域課題等に対して協働で対応すること、人材確保や災害対応等を法人間で協力することなどの取組等が行われます。
合併	複数の社会福祉法人が、吸収合併または新設合併により統合すること。社会福祉法に規定されている合併は、社会福祉法人間のみで認められています。
事業譲渡等	特定の事業を継続していくため、当該事業に関する組織的な財産を他の法人に譲渡・譲受すること。土地・建物などの単なる物質的な財産だけでなく、事業に必要な有形的・無形的な財産のすべてを他の法人に譲渡・譲受すること。本マニュアルでは、事業譲渡と事業譲受を総称して「事業譲渡等」と呼びます。

出典：「合併・事業譲渡等マニュアル」(社会福祉法人の事業拡大等に関する調査研究事業・みずほ情報総研株式会社)

## 新型コロナウイルス感染症の対応について

危機管理室 室長 近藤 誠

新型コロナウイルスは感染しないよう気を付けていても、どこで感染するかわからないという状況が続いています。感染した人には罪はありません。そこをまず第一に申し上げたいと思います。そして、今私たちが行っていることは感染を拡大させないこと、できるだけ早く感染の可能性のある人とない人の生活を分けること、これが初動の対応と考えています。

### 神奈川県内の感染者の統計から

2020年12月31日時点での神奈川県内の感染者は累計で2万1,263人です。県人口は約920万人、人口密度は約3,800人/km<sup>2</sup>です。1万人当たりの感染者が約23人です。大和市に至っては、累計感染者が467人、人口は約24万人、人口密度は約8,800人/km<sup>2</sup>（川崎市に次いで県内2番目）、1万人当たりの感染者は約20人です。横浜市・川崎市・横須賀市を除けば、小田急線、東海道線沿線の市部に100人以上の累計感染者となっています。県央福祉会のほとんどの事業所は相模川より東部に位置していますので統計上からみて、そこで生活している以上、危機感を持ち続ける必要があります。ちなみに福祉国家といわれるスウェーデンは日本の約1.2倍の国土で人口約1,000万人です。神奈川県とそんなに人口は変わりません。

### 新型コロナウイルスを知る

2020年10月、新型コロナウイルス感染症に対する日本政府の対応と措置を検証することを目的とした「新型コロナ対応・民間臨時調査会」の調査・検証報告書が出版されました。そこには委員のメッセージとして「コロナ禍の特徴は、専門性の高い医学領域にかかわることである。国家権力は科学に問うことはできるが、科学は

答えることが出来ない状況（トランスサイエンス）にある。」と書かれており、専門家はパンデミック下の科学の不確実性を認識すべきとしています。

高名な科学者でさえ解明することが難しいとされていますが、今現在わかっている情報であれば文献やネット等で見ることは出来ます。私の情報源は主に新聞で、自宅で購読しているもののほかに、時々コンビニで他社の新聞を購入しています。意外と科学欄は興味深いです。そこには日本でも著名な医師や感染症の専門家が意見を述べていて、私としてもコロナに関する相談を受けるにあたってとても参考になります。昔、大学時代（教育学）の恩師から人（子どもたち）に教えるときはその10倍勉強しなさいと言われたことを常に思っているのですが、自分の言葉で語れるようになるにはまだまだ時間がかかりそうです。

### 感染予防対策

新型コロナウイルスという目に見えない相手が自分のテリトリーに入らないよう予防することは非常に難しいと言われています。感染は「飛沫感染」と「接触感染」と言われますので、三つの密、『密接』『密集』『密閉』をできるだけ避け、うがい・手洗い・アルコール消毒・換気等を励行していきましょう。地震などの災害に備えるように、先を見越して備品や消耗品の確保を行いたいものです。各施設で備えていますが、アルコール消毒液・不織布マスク・ガウン・使い捨てグローブ・キャップ・飛沫防止パネル・非接触型温度計・足踏み式消毒器等は法人でまとめて購入、保管しています。



## 試行錯誤で対応

ある施設で夜に新型コロナウイルス感染の疑いが出た方がいました。勤めている近隣の事業所で感染者が出たので、もしかしたら濃厚接触者になるかもしれないという連絡が私の業務用携帯に入りました。こういう時の情報は、通常の半分も入ってこないと思われま。当事者やその関係者も気持ちが高ぶっており、冷静な言動が難しいからで、誰でもそのような状況に陥ると思います。逆に冷静な方が不思議です。

何度も同じ経験をしていけば身につくかもしれませんが、そんな経験は皆したくはないでしょう。今回も取り急ぎ現地に行って感染症対策備品を運び込みました。一晩待って翌朝保健所から PCR 検査をするかどうか検討しているという連絡がありました。保健所に行政検査はぜひ行っていただきたいですが、もしも PCR 検査対象から外れるのであれば、法人として行うこととし、準備に入りました。

幸い保健所で検査が全員行われることになり、半日後、結果は陰性でした。PCR 検査の結果が出るまではドキドキものです。今回は感

染者とならなかった例ですが、危機管理室が把握している統計では、12月30日時点で利用者・職員の PCR 検査等実施者が累計で 209 名 (2.5%)、感染者が 13 名 (0.2%) となっています。初動対応で現地に行くも感染予防のため建物内に入れない場合も出てきます。対応がわからない場合は行政機関とも連絡を取りながら対応せざるを得ないこともあります。できるところとできないところ、事例を積み重ねながら試行錯誤で対応しています。

## 「困った時はお互い様」の精神で

県央福祉会は県下で多数の事業所を抱え、さまざまな事業を行っています。その分、行政機関、他社会福祉法人等福祉事業所、施設等が集まっている協議会や協会、施設のある自治会や社会福祉協議会等とさまざまな関係があります。今回の新型コロナウイルス感染症では、一つの事業所で物事が完結しない事例がほとんどです。これからもお互い顔の見える関係性を維持していくためにも、透明性を確保し、必要な情報交換ができるよう「困った時はお互い様」の精神で助け合っていくことの大切さを改めて感じています。

表 新型コロナウイルス感染症の動き (2020 年)

月	法人の対応	国内の出来事	国内累計感染者数
1		15日に国内初の感染者確認	13
2	危機管理室で「新型コロナウイルス感染症に関するガイドライン」作成	クルーズ船「ダイヤモンドプリンセス号」で感染拡大	227
3	危機管理対策本部を設置、危機管理室内に感染症対策委員会を設置	東京初レジャーイベント開催延期決定	2,222
4	理事長名で「新型コロナウイルス感染症に関する緊急事態宣言への対応について」発信	全国に緊急事態宣言	14,269
5		緊急事態宣言解除	16,797
6	危機管理室で「新型コロナウイルス感染症に関するガイドライン(改訂版)」作成	県境をまたぐ移動自粛要請解除	18,668
7	主な感染症予防備品の一括購入・保管・配布を危機管理室で行う	東京都を除き「GO TO トラベル」開始	36,322
8			68,490
9	感染が判明した時の対応を検証する「感染症検証委員会」を設置		83,700
10	法人内事業所への応援職員の派遣についての実施要領作成	「GO TO トラベル」に東京発着も追加	101,455
11	厚労省通知を受け「ガイドライン(改訂版)」に積極的 PCR 検査の実施を盛り込む		148,973
12	法人内で PCR 検査を受けた職員・利用者が 200 名を超す	1日の感染者数が 3,000 人を超す	232,495

## ◆ 県央福祉会ヒストリー

### かたくりの里 ～事業所を移転して

湘南エリアで就労継続支援 B 型事業所として長い間サービスを提供してきた「かたくりの里」。昨年の4月に事業所を移転し、また生活介護サービスも始まり多機能型事業所に生まれ変わったことから、これまでの「かたくりの里」の歴史と今を振り返ってみました。

#### —「かたくりの里」32年間の“歩み”

1988年、湘南台駅から徒歩15分ほどの藤沢市円行地区に「かたくりの里」は生まれました。当時、知的障がい者のための授産施設はほかにも多くありましたが、精神障がいの方々が通う施設は少なく、藤沢市では二番目の開設となりました。精神障がいのある方々にとって安心して日中を過ごせる場が必要だと考えた佐瀬理事長らが、倒産した建設会社のプレハブ事務所を借り受けて、定員19名の地域作業所としてスタートさせたのが「かたくりの里」の始まりです。

その後、2001年には「第2かたくりの里（現：軽作業部門）」を定員10名で同じく湘南台に開設し、2007年には両事業所を「地域作業所」から「就労継続支援 B 型」に移行しました。2010年には、湘南台のサンウェイ湘南ビル内の1階に軽作業部門、2階に製菓部門を置くことで両部門が統合されました。同年、近隣地区に「パソコン工房」が新設され、製菓部門、軽作業部門、パソコン工房の3部門体制がこの時に確立されました。



また現在では、かたくり系グループホームも3カ所（かたくりホーム、ラソメゾン今田、ルーエダ今田）設立され、今では合わせて35名の方が入居されています（2020年12月現在）。

#### — 事務所移転で大きな“転換期”を迎える

そして2020年4月。湘南台駅から徒歩5分ほどの場所に、もともと別法人の保育園だった建物を借り受け、大幅な修復工事を行い、そこに事業所を移転しました。就労継続支援 B 型の3部門（定員40名）が同じ建物内に入り、かねてから念願であった統合体制がようやく実現しました。

それと同時に、新たなサービス事業として、生活介護（定員20名）も同じ施設内に新設されました。創作活動やプログラムを通じて、障がいをもった方々の生活の支援が始まりました。

また、事業所内には食堂ができ、各部門の利用者さん、そして職員と一緒に利用できる、給食サービスがスタート！

毎日約60名ほどの利用者さんが通所して来られ、和気あいあいとした雰囲気の中、活気のある事業所に生まれ変わりました。



軽作業部門の作業室。広々とした空間で作業に取り組んでいます。



PC部門の様子。作業スペースが増えて、パソコンをゆったり利用できます。



製菓部門の作業。人気のクッキー「レモンシュガー」を仕込み中！

### — 各サービス部門の日々の取り組み

就労継続支援 B 型の「製菓部門」では、焼菓子を作っています。国産バター 100%の風味豊かな味わい深いクッキーが評判です。材料の計量、生地作り、焼き、袋詰め、ラッピング、検品などの一連の作業を利用者さんで分担しています。「軽作業部門」では、パッケージ詰め、ラベル貼り、DM 封入などを行い、「パソコン部門」ではデータ入力やイラスト作成など PC を使った作業をしています。パソコン部門は軽作業部門と同じフロアの隣どうしにあるため、軽作業部門と一緒に同じ作業を行うことがあります。生活介護では、軽作業のほか、トランスフィットネスやヨガ、散歩やレクリエーションなど、利用者ミーティングをしながら日替わりでプログラムを実施しています。

### — 「かたくりの里」が目指す“支援”

「かたくりの里」ができて、今年で 34 年目を迎えようとしています。精神障がいのある方々が地域で安心して暮らせるよう、この先「かたくりの里」がそんな地域づくりのために貢献できることを願い、実現させるため、職員一同、同じ志をもって利用者の方々の支援に取り組んでいます。

(取材・執筆：広報委員会 委員 齋藤 智)

#### 事業所データ

住所：〒252-0804 藤沢市湘南台 5-1-2

TEL：0466-45-8512

FAX：0466-45-8515



活動室

生活介護の活動室。利用者さんから「ただいま充電中」と名づけられました。

生活介護のヨガ・プログラム。専門のインストラクターを招いています。

広い食堂。毎日、好きなメニューを給食で注文できます！

ウッドデッキのあるお洒落な店舗。常連のお客さんがクッキーやパンなどをよく買いに来られます！

昨年夏はゴーヤを栽培し、建物の外壁に「緑のカーテン」を作りました！

# ふれあいコンサート 2020

感染症対策を万全に実施し開催

2020年11月13日、やまと芸術文化ホールメインホールにて「ふれあいコンサート 2020」が開催されました（主催：県央福祉会後援会／共催：社会福祉法人県央福祉会）。コロナ禍の中、後援会と法人が一丸となって感染症対策に取り組みました。15回目の開催となる今回は、前々回のふれあいコンサートに出演いただいた「Spica」です。「昭和で行こうぜ!!」をテーマに、



ボカルの今井さん

とアップテンポの曲が続くと、場内のあちこちから手拍子がわき、場内は一気に盛り上がりま

数々の楽曲が披露されました。

13時30分、第一部がスタート。「青い珊瑚礁」「渚のシンドバッド」



## 演奏された曲目

### 第一部

- 青い珊瑚礁（松田聖子） ○渚のシンドバッド（ピンク・レディー） ○なごり雪（かぐや姫） ○故郷（唱歌）
- 赤とんぼ（童謡） ○翼をください（合唱曲） ○YOUNG MAN Y.M.C.A（西城秀樹）

### 第二部

- Diamonds（プリンセス プリンセス） ○学園天国（フィンガー5） ○天城越え（石川さゆり）
- アイウィルフォローヒム ○マリーゴールド（あいみょん） アンコール ☆パプリカ（Foorin）

した。童謡や唱歌に続いて、「ヤングマン」で第一部が終了。

20分の休憩をはさんで14時20分、第二部が開始。「Diamonds」のノリの良いリズムで会場のテンションは最高潮に。楽しい時間はあっという間にすぎ、最後の楽曲が終わると、場内から「アンコール」の声があがりました。アンコール曲「パプリカ」（大好評につきWアンコールも「パプリカ」でした）が終わると、皆さん



感動に包まれ、参加者は盛大な拍手で応えました。

最後に、「Spica」に

ロビーでは県央福祉会の商品を販売 花束を贈呈。ふきのとう舎、希望の家、グランツ遠藤、かたくりの里、三浦創生舎の利用者さんが、メンバー1人ひとりに感謝を込めて花束を手渡しました。



（取材・執筆：広報委員会 委員 青木 久）



## 新規事業所紹介「クレーレ三浦」「三浦創生舎従たる事業所」

2020年8月1日、三浦市内に新しく日中サービス支援型共同生活援助「クレーレ三浦」と生活介護事業所「三浦創生舎従たる事業所（餃子いちばん）」がオープンしました。三浦市内としては初めて中重度の知的障がい者が利用できるグループホームの整備であり、地域の期待に応えるべく日々奮闘しております。また、従たる事業所においては本格的な設備を備えた厨房と念願の販売店舗ができました。地域に愛される餃子屋さんを目指します！

### クレーレ三浦

住所：〒238-0244 三浦市白石町 21-10  
TEL：046-854-4156 FAX：046-854-4159

### 三浦創生舎従たる事業所（餃子いちばん）

TEL：046-854-4154



## 新 施 設 開 設

### ● クレイヨンピピー分場（大和市）

設置日：2020年5月1日  
事業内容：就労継続支援B型  
住所：〒242-0017 大和市大和東 3-2-13  
TEL：046-260-1031 FAX：046-259-9698



### ● ら・すてら上和田（大和市）

設置日：2020年8月1日  
事業内容：日中サービス支援型共同生活援助、短期入所  
住所：〒242-0014 大和市上和田 2511-1  
TEL：046-259-8045 FAX：046-259-8046



### ● ブックカフェひばりが丘（座間市）

設置日：2020年9月1日  
事情内容：生活介護、就労継続支援B型  
住所：〒252-0003 座間市ひばりが丘 1-45-21  
TEL：046-200-9627 FAX:046-206-5186



### ● 厚木市ASD支援センター（厚木市）

設置日：2020年10月1日  
事業内容：生活介護  
住所：〒243-0032 厚木市恩名 2-1-27  
TEL：046-204-8134 FAX：046-204-8165



## 移 転

### ● 花音座間（座間市）

設置日：2020年9月1日  
事情内容：特定相談支援、障害児相談支援  
住所：〒252-0003 座間市ひばりが丘 1-45-21  
TEL：046-206-5171 FAX:046-206-5186



## おしえて!!あなたの事業所 “わかばケアセンター”

### ●わかば会館／わかばケアセンターの歴史

わかば会館は平成3年に海老名市における在宅福祉の拠点施設として完成しました。

既存のわかば学園とわかば作業所の機能と高齢者デイサービスと身体障がい者デイサービスの機能を備え、そして地域の皆様から親しまれるよう体育室や会議室、市民交流室などが設けられました。

その後、2度の運営母体の変更を経て2011年4月より当法人県央福祉会がわかば会館の庁舎管理や貸館業務を受託しました。そして同じ時期に1階にあるわかばケアセンターを障がい者福祉支援の生活介護事業として受けることとなりました。

### ●ケアセンターとしてのビジョン・大切にしていること

わかばケアセンターは単独の生活介護事業所ですが、利用されている方のニーズは様々です。



身体障がい・知的障がい・重度心身障がい・重度自閉症といった障がいを抱えた方々が日々利用されています。そのため、多様な介護技術と専門知識が必要な事業所となります。日々、変化することもある状態(病状)を抱えた方がおりますので、一人ひとりに常に寄り



添い個性を大切にしながら支援しております。

このケアセンターがもう一つ大切にしていることが「利用者さん同士の相互のコミュニケーション」となります。昨今は様々なツールを使いながら利用者さん同士・ご家族同士の交流も増えているようでケアセンター職員の喜びでもあります。

### ●所長からのメッセージ



2020年4月1日より横浜エリアから異動してきました岸田北斗です。去る9月1日にわかば会館／わかばケアセンターの館長／所長として就任しております。

法人在職は現在10年目を迎えました。川崎エリア→大和エリア→横浜エリア→海老名と数度の異動を得て今に至ります。知っている職員さんもいるかもしれませんが、過去に法人の式典や各事業所での納涼祭や秋祭り等で職員の有志メンバーでダンスを披露させていただきました。その時に感じたものとして「笑顔の大切さ」「今できることを全力で」「相手に楽しんでもらう」この3点をメッセージとして伝えさせていただきます。

私たちの業務において「笑顔」は相手に感情を伝えるだけでなく、利用者さんからの感情や体調をも感じ取ることができる最良のツールです。人に向ける「笑顔」…。今一度、ご自身の笑顔と向き合い、さらに「磨き」をかけていただければと思います。

そして最後に…ダンスも一緒にでしたが何事も「一生懸命」おこなうことが大切だと感じます。

しかし時には一生懸命おこなっても伝わりにくい場面、場合もあります。そんな時は「相手は楽しんでいるか」を主軸にして常に「相手の気持ち」になりながら今できることを全力でおこなってみませんか？ みんなで一生懸命取り組んだ後…道が開けてくるかもしれません。

## 職員へのインタビュー



にしおかなお  
西岡奈桜さん 常勤職員 入職3年目

### ① 担当業務

重症心身障がい、重度自閉症グループ担当  
重症心身障がいグループでは主に食事、排泄、入浴の介助をおこなっています。また活動として創作や散歩、エアトランポリンなどをおこなっています。

重度自閉症グループでは主に見守りと食事、排泄の介助を必要に応じておこなっています。月に一度グループでドライブ外出をおこないます。



### ② 入職を決めた理由

学生の時に現在働いているような日中施設で実習をしました。そこで、この仕事のやりがいを感じ入職を決めました。

### ③ わかばの雰囲気

支援についてなどを職員同士相談しやすい雰囲気があります。全員支援に対しての考えがしっかりしており、より良い支援のために頑張れる職場です。

### ④ 仕事で大切にしていること

通所されているご利用者がわかばケアセンターに行くことが楽しみになるよう意識をして支援をおこなっています。

なまためたかゆき  
生田目高幸さん 非常勤職員 入職10年目

### ① 担当業務

ご利用者の生活支援全般を担当しています。

### ② 入職を決めた理由

会社員時代から退職までの間、社会生活の中で、周囲の方々の力添えをいただいたことに感謝し、それに対し社会に恩返しがしたいという気持ちで入職を決めました。

### ③ わかばの雰囲気

アットホームな雰囲気です。

### ④ 仕事で大切にしていること

ご利用者の方々が、一日を安心・安全に過ごせる時間を提供させていただくことです。



(取材・執筆：広報委員会 委員 山田 真)



## 2020年度助成金受給

## ふきのとう向生舎（大和市）

助成品目 リフト車  
助成団体 共同募金会

ふきのとう向生舎では、近年車いすを使用される利用者さんも増えています。新たな車両の購入を考えていたところ、このたびは、車両購入の配分金をいただき、リフト車を購入することができました。おかげさまで送迎、また外出等で快適な環境を用意することができました。利用者さんもととても喜んで利用されています。ありがとうございました。



## トピックス

## 佐瀬理事長主催の勉強会を開催

去る、10月19日、21日、22日に佐瀬理事長主催の勉強会が開催されました。かねてから佐瀬理事長は職員育成のために法人職員全体に学びの場を提供したいと考えていました。今年度は、コロナ禍で職員一人ひとりが今まで以上に考えることを求められるこのタイミングでの開催となりました。

方法は2020年度の重点目標に沿って、各階層ごとに座学とグループディスカッションをおこなう形とし、まず始めに、上記の3日間で課長・主任・副主任（計116名）対象の勉強会をおこないました。

内容としては(1)各階層の役割と業務・心得について、(2)その役割と業務・心得についてグループディスカッション、(3)専門性の一つとして「個別支援計画書」



作成の原則、(4)人間尊重主義や社会的マナーやオフィスマナーなど、(5)専門分野別の学習（親子関係・乳幼児の発達理論・障がい特性・グループホームの役割と専門的支援・相談支援の実践力・その他）等、(6)共生社会と地域生活移行及び障がい者主体の地域社会について、(7)地域の他団体や他法人との連携についての7項目です。理事長からの講義を聴いた後、各グループで課長・主任・副主任の果たすべき役割を討議しました。最後にそれぞれのグルー



佐瀬理事長

プから発表をおこない、様々な意見が出たことが窺えました。

今後は他の階層職員への勉強会の開催を予定しています。この3日間では、法人が目指すところ、職員としての心構えを一人ひとりが再認識した意義ある勉強会となりました。

（取材・執筆：広報委員会 委員 安達祐二）

## 編集後記

2020年は新型コロナウイルス感染症に翻弄された1年になりました。連日、各地で新規感染者数や重傷者数が増え、収束のめどが立たない中で新たな年を迎えました。「人間万事塞翁が馬」「禍福は糾える縄の如し」という故事成語があるように、こういう時だからこそ、悲観しすぎることなく、前向きな気持ちでいたいものです。

（青木 久）

## 編集委員

法人本部 青木 久  
緑区障がい者後見的支援室  
みどりのこかげ  
法人本部

大越 絵里子  
安達 祐二

児童発達支援センター いっぱ 南條 友佳  
海老名市立わかばケアセンター 山田 真  
かたくりの里 齋藤 智